

平成24年9月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年10月22日

I. 概況

1. 売上高総額	1,081億円余
2. 前年同月比	0.7% (店舗数調整後/2か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.4%(88.7%) : 非店頭3.4%(11.3%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年8月対比±0店)
5. 総店舗面積	909,266㎡ (前年同月比:0.6%)
6. 総従業員数	18,742人 (前年同月比:-0.8%)
7. 3か月移動平均値	2-4月 10.2%、3-5月 11.3%、4-6月 2.8%、 5-7月 0.2%、6-8月 -0.4%、7-9月 -0.2%

[参考] 平成23年9月の売上高増減率は-3.6% (店舗数調整後)

【9月売上の特徴】

- (1) 東京地区でも、月前半の天候不順が大きく影響したが、複数の店舗で完了した増床や大型改装の効果が押し上げ要因となって、前年実績を上回った。
- (2) 高額品の内、特に高級時計については、ワールドウォッチフェア等関連催事が展開されるなどから好調に推移した。こだわり消費の広がり背景に、数十万円～百万円以下の価格帯で需要が伸びている。
- (3) 身のまわり品に分類される、海外ラグジュアリーブランドの服飾雑貨(靴、ハンドバッグ、婦人アクセサリー等)も好調であった。改装や新ブランドの導入効果が見て取れる。
- (4) 全国の水準以上に好調な化粧品(+5.9%)についても、改装・新ブランド導入効果が寄与し、都内のほぼ全店で前年実績を上回っている。
- (5) 東京地区の10月中間段階までの商況は、前年を上回るペースで推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見ると傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:2店、②変化なし:6店、③減少した:11店
- (3) 9月歳時記(敬老の日、秋分の日/お彼岸)の売上 (同上/有効回答数14店舗)
①増加した:1店、②変化なし:7店、③減少した:6店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見ると傾向値/有効回答数20店舗)
①増加する:3店、②変化なし:11店、③減少する:4店、④不明:2店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年09月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	108,182,205	100.0	0.7 (0.7)
紳士服・洋品	7,972,702	7.4	1.7 (7.3)
婦人服・洋品	22,575,889	20.9	-2.9 (-3.4)
子供服・洋品	1,938,083	1.8	0.1
その他衣料品	2,040,738	1.9	5.6
衣 料 品	34,527,412	31.9	-1.3 (-0.4)
身のまわり品	15,107,347	14.0	2.0 (0.9)
化粧品	6,677,987	6.2	5.9 (6.1)
美術・宝飾・貴金属	6,739,732	6.2	3.6 (3.8)
その他雑貨	5,513,422	5.1	-5.8 (-5.7)
雑 貨	18,931,141	17.5	1.4 (1.6)
家 具	2,106,913	1.9	18.4
家 電	589,272	0.5	-3.1
その他家庭用品	3,807,781	3.5	-5.8 (-6.9)
家 庭 用 品	6,503,966	6.0	1.2 (0.4)
生 鮮 食 品	4,417,023	4.1	3.3
菓 子	6,847,164	6.3	5.0
惣 菜	6,130,678	5.7	6.0
その他食料品	7,695,981	7.1	-3.9 (-4.7)
食 料 品	25,090,846	23.2	2.0 (1.8)
食 堂 喫 茶	3,076,910	2.8	-0.3 (-1.2)
サ ー ビ ス	2,434,554	2.3	21.0 (21.9)
そ の 他	2,510,029	2.3	-12.9 (-14.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	2,558,331 千円	-17.9 (-18.1)
従 業 員 数	18,742 人	-0.8
店 舗 面 積	909,266 m ²	0.6

営 業 日 数	30.0 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨、家庭用品が3か月ぶり、食料品が2か月連続、身のまわり品が7か月連続のプラス。マイナスは衣料品。美術・宝飾・貴金属が2か月ぶり、家具が3か月ぶりのプラス、紳士服・洋品、子供服・洋品、化粧品、生鮮食品が2か月連続、その他衣料品が3か月連続、菓子が8か月連続、惣菜が14か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.7	—	2か月連続プラス
紳士服・洋品	1.7	0.1	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.9	-0.6	2か月ぶりマイナス
子供服・洋品	0.1	0.0	2か月連続プラス
その他衣料品	5.6	0.1	3か月連続プラス
衣料品	-1.3	-0.4	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	2.0	0.3	7か月連続プラス
化粧品	5.9	0.3	2か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.6	0.2	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-5.8	-0.3	5か月連続マイナス*
雑貨	1.4	0.3	3か月ぶりプラス
家具	18.4	0.3	3か月ぶりプラス
家電	-3.1	0.0	8か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-5.8	-0.2	5か月連続マイナス
家庭用品	1.2	0.1	3か月ぶりプラス
生鮮食品	3.3	0.1	2か月連続プラス*
菓子	5.0	0.3	8か月連続プラス*
惣菜	6.0	0.3	14か月連続プラス*
その他食料品	-3.9	-0.3	4か月連続マイナス*
食料品	2.0	0.5	2か月連続プラス
食堂喫茶	-0.3	0.0	4か月連続マイナス
サービス	21.0	0.4	4か月連続プラス
その他	-12.9	-0.3	5か月連続マイナス
商品券	-17.9	-0.5	17か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>